

笑顔をつなぐ広報紙

2013

広  
報

# ひとよし

3/31

No.983

施政方針号

市民みんなが健康で笑顔で  
暮らせるまちを目指して



また、総理は就任後の記者会見のほか所信表明でも、大胆な金融政策、機動的な財政政策、そして民間投資を喚起する成長戦略の3つの基本方針を「3本の矢」と表現し、経済再生をわが国にとって最大かつ喫緊の課題と位置付けられています。本市でも経済の再生・浮揚は重要な課題であり、そのためにも2期目の

2月26日から3月25日まで開催された平成25年3月市議会冒頭で、田中市長が述べた施政方針をお知らせします。※広報ひとよし掲載用に表現を一部変更しています。

**昨** 年末の衆議院議員総選挙の結果、自由民主党が政権与党に復帰し新体制が発足するなど、国政では大変大きな動きがありました。最近の国際情勢、国内情勢にかんがみれば、安倍晋三内閣総理大臣が第83回国会の所信表明で、「日本経済の危機」「復興の危機」「外交安全保障の危機」「教育の危機」の4点を挙げられたのをはじめ、「危機」という言葉を多用されたとの報道は、非常に象徴的でありました。国政のみならず、私も市政を預かる者として、常に危機感を持って市政運営に当たらなければならぬと、改めて強く心に誓ったところです。

就任時に市民の皆さまとお約束したローカルマニフェストを遂行することが、最善の道と信じてまい進じてまいります。今年、2期目の折り返しを迎える年でもありますので、この場をお借りし、ローカルマニフェストの進捗状況を述べさせていただきます。複数の部署に関連する項目もありますので、総合計画内の6つの政策ごとにまとめ、「進行中」「実施済み」「継続中」「代替」「凍結」の5つの判断基準のうち、「実施済み」とさせていたいただいた項目についてご報告します。

**1 マニフェスト 進捗状況**

**農業と観光で稼ぐ・儲かる経済都市**

**産業・経済分野**

まず、「農業と観光で稼ぐ・儲かる経済都市ひとよし」の産業・経済分野では、8つの取り組みのうち、「実施済み」

としたものが3項目です。

地産他商関係では、地元農産物や物産品の販売、観光PRとして「人吉球磨の味めぐりin東京都庁」を平成23年から実施しているところですが、この2年間の成果と検証を踏まえ、人吉ブランド化実行委員会企画運営部会で、平成25年度は、関西地域での開催を決定しました。

このほか、肥薩線世界遺産登録に向けての組織の立ち上げと、離職者のための緊急雇用対策を実施済みとしています。

**美しき相良七百年の歴史文化都市**

**教育・文化分野**

次に、「美しき相良七百年の歴史文化都市ひとよし」の教育・文化分野ですが、4つの取り組み項目のうち、2項目が「実施済み」です。

学校教育関係で、「放課後ただ塾」構想の一つである放課後パワーアップ教室が、平成23年10月11日から市内6つの小学校でスタートし、約1年5カ月が経過しました。ボランティアでご協力いただいている学習サポーターおよび



補助の先生のご指導のもと、希望する4年生から6年生児童の学力の基礎・基本の定着とやる気を引き出す取り組みが行われ、確実に成果が得られています。また、7人の学力充実支援員の配置によって放課後パワーアップ教室の運営が充実しました。それと同時に、各小学校の日々の授業でも学力充実のための支援が必要な児童へ支援を行うことで、「確かな学力」の育成に寄与しているところです。

平成25年度には、さらに同事業を拡大し、低学年を対象に「思考力の基礎」を育む「人吉市花まる教室」として、本市出身の高濱正伸氏が代表を務められている「花まる学習会」からの派遣指導者を中心に、思考力の基礎を育むための教材を活用し、学力充実支援員などに指導・運営にあたっていただく計画です。

このほか、郷土の偉人の顕彰事業を実施済みとしています。今後も引き続き、子どもたちの生きる力の育成につながる本市独自の取り組みを、積極的に進めていきたいと思っております。



人吉市花まる教室

放課後パワーアップ教室

人吉球磨の味めぐりin東京都庁

平成 25 年 第 1 回 人吉市議会定例会

# 施政方針

市民みんなが健康で笑顔で暮らせるまちを目指して

このほか、新たなタウンミーティングの手法である「たまには市長もかてナイト」の実施、「十年後の人吉を語る平成100人委員会」の開催、中津留美術館跡地の再生、市職員の定期的な研修の4項目を実施済みとしています。今後とも市民幸福向上の実現に向けて、残りの4項目についても自ら積極的に行政改革

計画を策定し、計画初年度の平成24年度から退職者に対する新規採用を抑制しているところと、今後とも行政サービスの向上と職員の就労環境の改善を図りつつ、着実に定員管理を実行していきます。また、定員管理の推進に併せて、「新たな組織機構改革による機動性の高い組織づくり」にも着手しています。昨年12月議会でお認めいただいたとおり、今年4月1日から市長公室と総務部の2部6課を統合再編し、総務部1部5課とし、建設部についても現行4課体制から3課体制とします。これにより一層の組織の効率化、機動性の向上を目指すとともにこの改編を契機として、平成25年度以降も行政委員会を含めた組織の統合再編について鋭意検討していきます。

取り進むことで、「市民に感動していただく」ための行政経営の確立を目指していきたいと思っております。以上、「実施済み」とした項目についてご報告しましたが、当然のことながら「実施済み」で終わりという意味ではなく、全ての項目を引き続き「継続」として行うものと判断しています。また「進行中」と判断した項目についても、鋭意進めているところでも、これらの内容についてはまとまりたい、これまで同様各部の事業・施策の中で順次ご報告させていただきたいと思っております。これからも「市民みんなが健康で笑顔で暮らせるまちづくり」を念頭に、各施策に取り組んでいきたいと思っております。議員各位をはじめ市民の皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。

## 2 組織別・市長公室関連

「青雲の志」を持つグローバルな人材を育成

国際交流関係ですが、昨



姉妹都市・ポルトガル国アブランテシュ市



米国サンノゼ州立大学



建設から50年以上が経過する市役所本庁舎



相良三十三観音めぐりウォーキング大会

## 母なる清流球磨川が輝く自然安心都市

自然環境・安全分野

次に、「母なる清流球磨川が輝く自然安全都市ひとよし」の自然環境・安全分野ですが、5つの取り組み項目のうち、1項目が「実施済み」です。

庁舎建設関係ですが、「安全・安心のまちづくり」の取り組みの一環として、「市庁舎移転建設研究委員会」を庁内に発足しました。昨年10月の第1回の会議を皮切りに現

在4回開催し、これまでの市庁舎移転建設に関する経過の確認と本館および別館といった現市庁舎の現状、さらにはPFI手法での庁舎建設の可能性などについて、調査・研究を進めているところです。今後市民の安全性と利便性を最大限に考慮した市庁舎建設に向け、市議会と執行部とが車の両輪となり、まずは、骨子となる「基本構想」を策定するためにも、移転場所の選定に重点を置き議論を交わしてまいりたいと思っております。議員各位、さらには市民の皆さまのご理解とご協力を

## 笑顔があふれ、幸せいっぱい健康福祉都市

健康・福祉分野

次に、「笑顔があふれ、幸せいっぱい健康福祉都市ひとよし」の健康・福祉分野ですが、6つの取り組み項目のうち、2項目を「実施済み」としました。

長寿健康づくり支援策として、全国規模の相良三十三観音めぐりウォーキング大会

の事業主体を人吉球磨広域行政組合に移し、広域連携という枠組みをもって昨年9月23日に事業を実施し、全国へ向けて発信したところです。まだ全国規模という段階にはありませんが、さらなる工夫を重ねることで、本地域の魅力にあふれ、人吉球磨を代表する秋の恒例行事として育てていきたいと思っております。

## 便利で住みやすいふるさと定住都市

都市基盤・建設分野

次に、「便利で住みやすいふるさと定住都市ひとよし」の都市基盤・建設分野ですが、8つの取り組み項目のうち、3項目が「実施済み」です。

「安全・安心のまちづくり」の一環として市営住宅の修繕・改善を、年次計画に沿って切れ目なく実施しているところです。本市では、昭和50年前後に集中して建設された市営住宅が更新期を迎え、既存ストック住宅の効率的かつ有効な更新と費用の縮減につ

なげていくため、平成23年度に「公営住宅等長寿命化計画」を策定しています。この計画に基づき、快適で安全な居住環境を維持するため、引き続き外壁改修工事や屋上防水工事など、計画的に修繕・改善を実施していきたいと思っております。

## 信頼と連携で力を合わせる市民主役都市

地域・自治分野

最後に、「信頼と連携で力を合わせる市民主役都市ひとよし」の地域・自治分野ですが、取り組み項目の10項目のうち、6項目が「実施済み」となっています。

主に、税金の無駄遣い撲滅運動策のうち「市職員の総人件費の削減」については、私自身の給与20パーセントカットを含め、前期に引き続き特別職の給与削減を実施しています。また、職員定数についても、平成32年度までに職員数を26人、7・6パーセント削減する新たな定員適正化



市内各所に整備された防災行政無線の拡声器



本庁舎3階に防災行政無線の親局を設置

納税関係ですが、マニフェスト関連項目である市税などのコンビニ収納については、市民の皆さまからのご要望もあり、検討を重ねてまい

**4 組織別・市民部関連**  
コンビニ納税で利便性と収納率が向上

納税関係

環境関係ですが、中国からの越境汚染が指摘されている微小粒子状物質「PM2.5」に対応するため、環境省は今年2月14日に専門家による初会合を開催し、3月中旬に暫定的な指針をまとめるとの意向を示されたところです。このようなことから、現在、本市としましても熊本県からの情報をもとに本市ホームページに掲載し、市民の皆さまに情報を提供しているところです。今後も関係機関と連携

福祉関係ですが、初めに、マニフェストにも掲げている「向こう三軒両隣」による声かけネットワークの組織化につきましては、平成23年度から民生委員児童委員や高齢者相談員が中心となり、地域での見守り体制の整備を進めているところです。また、災害時要援護者避難支援システムを導入し、町内会をはじめとする自主防災組織に対し、必要な情報提供を行うなど、安全・安心な地域づくりの整備にも努めてまいりました。平成25年度については、災害時の要援護者の避難支援体制を拡充させるため、「支え合いマップ」作成に関する出前講座などを開催し、地域での助け合い強化につなげていきたいと思います。

行政改革関係ですが、昨年からの検討を進めてまいりました第5次人吉市行政改革大綱案については、市民有識者による人吉市行政改革懇談会

**3 組織別・総務部関連**  
全庁体制で実効性のあがる改革に着手

第5次行政改革大綱

見を取り入れ、大綱を策定したところでは、この大綱は、推進期間を第5次人吉市総合計画の終期に合わせ、平成31年度までの7年間としています。また、具体的な取り組み項目については、進捗状況を確認し、継続して実施すべき項目や新たな追加項目などを踏まえ、毎年見直しを行いながら実効性のある行政改革を進めていきます。また、各課に行政改革推進リーダーを配置し、積極的に取り組みを進めながら、全ての職員が共通認識のもと、全庁体制で取り組んでいきたいと思っております。

で、地域に愛される鉄道として、より一層の利用促進が図られるものと大きな期待を寄せているところです。

また、具体的な取り組み項目については、進捗状況を確認し、継続して実施すべき項目や新たな追加項目などを踏まえ、毎年見直しを行いながら実効性のある行政改革を進めていきます。また、各課に行政改革推進リーダーを配置し、積極的に取り組みを進めながら、全ての職員が共通認識のもと、全庁体制で取り組んでいきたいと思っております。

**同報系防災行政無線の本格運用を開始**

防災関係

防災関係ですが、平成24年度事業として整備を進めてまいりました同報系の防災行政無線については、今年3月中旬に工事が完了し、親局、中継局、子局の各設備が全て整う計画です。その後、試験電波の発射および各機器の動作確認、竣工検査などを行い、4月から本格的に運用を開始することにしています。移動系無線の整備についても、平成25年度の事業として進めていきたいと思っております。引き続きご協力をお願いします。

**5 組織別・健康福祉部関連**  
災害時の要援護者の支援体制を拡充

声かけネットワーク



世界遺産登録を目指す100年レール肥薩線（昭和43年）

地域の盛り上げと全国へのPR活動を展開  
肥薩線世界遺産登録

肥薩線の鉄道遺産関係ですが、世界遺産登録を目指した取り組みについて地域住民の皆さまにも理解を深めていただくため、今年3月9日、東京大学副学長の西村幸夫先生を本市にお招きして「100年レール肥薩線 世界遺産特別講演」を開催する運びとなりました。西村先生は、世界文化遺産の審査を担当する国際機関ICOMOS(国際記念物遺跡会議)の日本国内委員長で、さらには「九州・山口近代化産業遺産群」の専門委員長でもいらっしゃいます。このため、世界遺産、産業遺産という2つの側面から肥薩線の魅力についてお話をいただけるものと大いに期待をしております。

現在、肥薩線世界遺産推進室で肥薩線に関する学術調査や観光PRを進めています。が、より全国へ効果的に情報を発信していくため、専用ホームページの立ち上げを計画しています。また、「D51形蒸気機関車」の復活運行についても、まずは全国から署名

を集めるため、その書式をホームページ上に掲載することになっています。今後はこのホームページを通じて、肥薩線の世界遺産登録とD51形蒸気機関車の復活を全国に訴えるとともに、多くの皆さまにご覧いただけるように内容を充実していきたいと思っております。

**開業90周年へ向け地域に愛される鉄道へ**  
くま川鉄道関係

また、くま川鉄道関係についても、大正13年に当時の鉄道省湯前線として開業して以来、約90年を経過していても数多く残されています。このうち、球磨川第4橋梁、湯前駅舎など、15件の施設についての学術調査報告書が完成しました。今後、国の有形文化財として登録できるように、文化庁に対して意見具申を行ってまいります。

くま川鉄道株式会社でも、全ての車両のリニューアルを計画していますように、鉄道の開業90周年に向け、車両と施設、上下一体となって付加価値を向上させていくこと



球磨川第4橋梁とKUMA1・KUMA2



肥薩線の専用ホームページを開設



東京大学・西村副学長による講演会

**理解を深め関係機関との連携を強化**

**自殺者予防対策**

次に、近年社会的問題となつている自殺者の予防対策として、心の問題について正しい知識を広めるために、今年1月27日に「こころの健康セミナー」をカルチャーパレスで実施したところ。自殺との関連性が高い「うつ病とアルコール依存症」について専門医からの講演がありました。市民の皆さまをはじめ関係機関の方に知識習得と理解を深めていただく機会とすることができました。今後も、関係機関との連携を強化し自殺予防対策に取り組みたいと思います。

**障がい福祉サービスを充実し総合的な支援を**

**障害者総合支援法施行**

また、これまでの障害者自立支援法に替わって平成25年4月から施行される「障害者総合支援法」ですが、新たに「共生社会の実現」や「社会参加の機会確保」などの基本理念が創設されました。ま

だいたところです。今年4月からは新しい愛称でスタートし、高齢者の方が気軽に利用いただけるよう、これまで以上に機能を充実させていきたいと思ひます。

**特定健診の受診率向上を目指す**

**市民健診**

健康づくり関係ですが、受診しやすい健診を目指して、平成24年度から「市民健診」として見直しを行い、受診率向上のため、さまざまな取り組みを実施してまいりました。平成23年度との比較で受診率は伸びたものの、目標値の65パーセントには及ばず、速報値34・6パーセントという結果となりました。特に、60歳未満の男性の受診率が20パーセントに満たない状況であり、働き盛り世代の男性への受診勧奨が大きな課題となつています。平成25年度の健診申し込みも既に始まつていて、毎年受診していただくことが、生活習慣病の予防につながつてまいりますので、町内嘱託員や健康推進員の皆さまのご協力を得ながら特定健診の受診率向上を目指してい

た、治療方法が確立していない難病なども障がい者の定義に加わることから、より一層、障がい福祉サービスを充実し、日常生活や社会生活を総合的に支援していききたいと思ひます。

**適切な保護と経済的自立の促進を支援**

**生活保護**

生活保護についてですが、依然として厳しい経済情勢が続くなか、全国と比較して保護率は低いものの、本市でも生活保護受給者は増加の傾向



こころの健康セミナー「うつ病とアルコール依存症」



受診率アップを目指す市民健診

**6**

**組織別・経済部関連**

**クリの品質向上と生産農家の所得向上へ**

**クリせん定作業支援**

農業振興関係ですが、平成24年度から3カ年の事業として始めた人吉市クリせん定作業支援は、初年度は事業の周知期間が短かったことなどから、本市が想定していませんでした。応募数には至らなかったこと

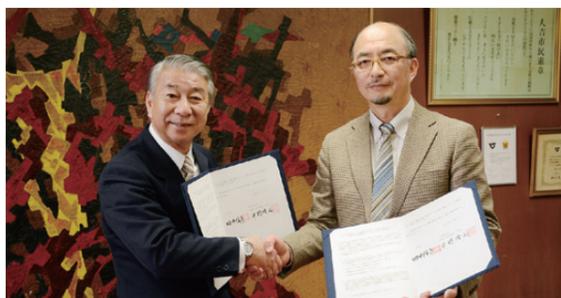
きたいと思ひます。

にあります。現在の社会経済情勢のもとでは、当面この状況は続くと思われまますので、今後とも、保護を必要とされる方に対しましては、適切な保護に努めるとともに、就労支援を強化し、経済的自立を促進するよう努めていききたいと思ひます。

**日本福祉大学との研究協定を締結**

**高齢者支援関係**

高齢者支援関係ですが、今年3月11日に日本福祉大学地域ケア研究推進センターと



日本福祉大学地域ケア研究推進センターと研究協定締結



人吉産クリの品質向上を目指しせん定作業支援

ろです。2年目となる平成25年度については、さらにJAKと連携を強め、人吉産クリの品質向上と生産農家の所得向上のため、本事業の活用を推進していききたいと思ひます。

**高齢農家の安定経営と伝染病予防への支援**

**畜産農家支援**

畜産関係ですが、畜産経営では、従事者の高齢化や後継者不足などの理由から農家戸数が年々減少傾向にあり、畜

本市は「包括的な福祉施策のあり方」に関する研究協定を締結する運びとなりました。日本福祉大学は、福祉系の大学としては国内でも有数の規模を誇り、人材の輩出、また研究の成果ともに素晴らしい実績を上げています。今回の協定は、少子高齢化が進む本市の現状と地域ケア研究推進センターの研究内容が一致している「少子高齢化の進む地域における福祉の施策化に関すること」「地域における認知症対策の取り組みに関すること」「権利擁護支援の仕組みづくりに関すること」「広域的な地域包括支



地域包括支援センターの愛称は「元気・長生きセンター」に



キーパーソン事業in人吉での意見交換

産農家の皆さまも今後の経営維持などについて心配をされているところ。本市としてましては、平成25年度から畜産農家支援の一環として、品評会などへ出品する際の補助および異常産予防接種についてのおよび経費の一部助成を人吉市農業活性化対策事業補助金の枠内で実施します。この支援により、高齢者の農家の皆さまも安心して経営をされ、また地域が一体となった家畜伝染病の予防に努められることを期待するものです。

援ネットワークシステムの構築に関すること」の4つをテーマとして締結するものです。この研究協定により、本市の福祉施策を充実させ、本市が目指している「笑顔があふれ、幸せいっぱい健康福祉都市ひとよし」の実現に大きく近づけていききたいと思ひます。

**分かりやすい新しい名称でスタート**

**地域包括支援センター**

人吉市地域包括支援センターについてですが、このセンターは地域包括ケアの実現のための中心的な役割を担う機関として平成18年4月に設置しました。高齢者のための総合窓口として、総合相談支援や権利擁護事業、介護予防ケアマネジメントなどさまざまな事業に取り組んでいます。

**地域に埋もれた宝を地域ブランドへ**

**キーパーソン事業**

今年2月8日、「キーパーソン事業in人吉」を開催しました。この事業は、九州経済産業局と本市が関係団体と連携し、まちづくりの第一線で活躍されているキーパーソンを中心に、私たち自らが地域に埋もれているお宝を発見し、将来の地域ブランドづくりの検討や自主的な取り組みを行うきっかけづくりとして実施したものです。当日は、3人のキーパーソンを迎え、基調講演や参加者との意見交換を行っていただくなど、非常に有意義な会となりました。今後は、この事業でお伺いした貴重なご意見を参考に、地域の皆さまと一体となつてまちづくりに取り組み、全国に人吉をアピールしていきたいと思ひます。



5年目を迎えるSL人吉運行



今年もゴールデンウィークにお城まつりを開催



経営改革を断行するくま川下り

吉球磨は、ひなまつり」を開催して... JR人吉駅前でのオープニングセレモニーは、あいにくの雨模様でしたが、くまモンをはじめ人吉球磨4市町村のゆるキャラや事業連携をしている奥宮崎の西都市、西米良村、綾町のゆるキャラも集結し、また善隣保育園の年長さんたちにもかわいらしくくまモン体操でセレモニーに華を添えていただきました。今年、専徳寺さんも復帰をされるなどうれしい知らせもあり、人吉球磨100カ所以上の施設でそれぞれのおひな祭りが展開されています。

さらに、この時期ならでは人吉温泉女将の会「さくら会」のおひな御膳やおひな会席、くま川鉄道のカフェトレイン、くま川下りの梅花の渡しなどとの連携や、新たな試みとして地産のホット梅酒のサービスなども加え、また、奥宮崎との地域連携とともに、総合産業としての観光の広がりを目指しているところで、

期間は各地各団体によって、さまざまな催しが実施されるほか、3月16日には待望のSL人吉の運行開始や観光路線バスじゅぐりつと号の運転再開もあり、本市にも本格的な春の観光シーズンが到来します。関係団体・機関の皆さまをはじめ市民の皆さまにも、観光客を温かく迎えて

日本百名城人吉お城まつりは、今年もゴールデンウィークの5月3日・4日に開催することに決定し、準備を進めているところです。そのほかさまざまなイベントや取り組みを通して、観光の広域化や、本市観光自体の総合力を高め、人吉球磨地域の歴史・文化に裏付けされた品格といったものを大切にしていきたいと思っております。

くま川下り関係ですが、昨年8月、前任者の退任を受け、市政の最高責任者である私が社長に就任し、本市議会にもご心配をおかけしていましたが、12月25日に臨時の株主総会、その後、取締役会を開催し、社長代行であった井上幸生氏を新社長に選任しました。今後は、井上新社長の下、背水の陣の思いをもって着手した経営改革を断行していきませんが、私も引き続き取締役の一人として、会社再建を支援していきたいと思っております。議員各位をはじめ市民の

7 組織別・建設部関連

住宅リフォームの補助を今年度も継続 住宅リフォーム促進

皆さまのさらなるご支援、ご協力を改めてお願い申し上げます。

事業組合を解散し協議会へ

川辺川総合土地改良事業関係ですが、国営土地改良事業を推進するため、昭和47年に関係市町村で設立し、多岐にわたり事業事務を行ってきた「川辺川総合土地改良事業組合」は、平成15年度の利水訴訟での国の敗訴や平成20年度からの事業休止などを受けて事務量が減少し、また平成25年3月末で最後の組合職員も定年退職となり不在となる状況を踏まえ、同組合を解散し、「協議会」に移行させる方針を固めて昨年から準備を進めてきました。同組合を構成する関係6市町村は、今年1月25日付けで県知事に組合解散の届け出を提出して受理されましたので、平成25年3月31日をもって、正式に解散することが決定したところです。現在、「協議会」設立に向け、準備を進めています。協議会に移行しても前体制と遜色がないよう組織形態など検討を行っており、これまでと同様に、水を待つ農家に一日でも早く水を届けられるよう引き続き鋭意努力をしています。



整備に取り組む人吉中核工業用地

最小の経費で最大の効果を出す整備計画

中核工業用地

人吉中核工業用地ですが、現在、全体基本計画を見直し、現市有地を有効に活用するため、最少の経費で最大の効果を出す用地造成・周辺環境整備計画を進めているところです。今後、一部の用地取得と開発行為手続きを行い、工業用地整備に取り組みたいと考えています。地域住民の皆さまおよび関係各位におかれましては特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本市一丸となり企業誘致活動を展開

企業誘致

次の2件はマニフェスト関連です。初めに企業誘致につきましては、現在、地域に一人でも多くの雇用創出を生み出すため、さまざまな手法で本市の工場立地環境を全国に情報発信し、企業訪問と誘致活動を展開しているところです。これまで以上に人吉球磨地域、さらには県南地域一体となった企業誘致を推進し、本市一丸となった職員全員企業誘致運動として、一人一人がセールスマンとなって誘致活動に取り組んでいきます。また、球磨焼酎をはじめ



活性化を進める中心市街地・九日町

4月から新しい補助制度の運用を計画

中心市街地

次に、中心市街地の「昭和の人吉温泉郷、街並みの復活」ですが、市職員による「賑わい創出プロジェクト」を設置し十数回に及ぶ検討会と、商店街の皆さまをはじめ商工会議所と宅建業者の方と連携しながら活性化策

新社長のもと背水の陣で経営改革を断行

くま川下り関係

くま川下り関係ですが、昨年8月、前任者の退任を受け、市政の最高責任者である私が社長に就任し、本市議会にもご心配をおかけしていましたが、12月25日に臨時の株主総会、その後、取締役会を開催し、社長代行であった井上幸生氏を新社長に選任しました。今後は、井上新社長の下、背水の陣の思いをもって着手した経営改革を断行していきませんが、私も引き続き取締役の一人として、会社再建を支援していきたいと思っております。議員各位をはじめ市民の



ひなまつりオープニングに各地のゆるキャラが集結

奥宮崎との地域連携で広がりを目指す 人吉球磨は、ひなまつり

観光関係ですが、今年2月1日から3月31日まで、恒例のロングランイベント、ひとよし・くま旬夏秋冬キャンペーン実行委員会による「人

皆さまのさらなるご支援、ご協力を改めてお願い申し上げます。



人吉高校定時制を対象に出前講座を開催



大好評に終わった「ひとよし花まる学園大学」



学校支援地域本部事業で地域との絆が深まる



全小中学校に天井扇を設置



石野公園を計画的に改築・更新



整備を進める都市計画道路・下林願成寺線

下林願成寺線の一部の用地交渉に着手

街路事業

都市計画関係ですが、街路事業では、都市計画道路「下林願成寺線」のうち、平成23年度から人吉インターチェンジから通称フルーティロード交差点付近までの区間の整備に取り組んでいるところであります。平成24年度に同区間の詳細設計、用地測量と一部建物調査を行いましたので、平成25年度からはその調査結果などを基に、計画的に用地交渉を進めていきたいと思っております。地権者をはじめ市民の皆さまには何かとご迷惑をおかけしますが、事業の趣旨をご理解いただき、何とぞご協力いただきますようお願いいたします。

村山公園の施設整備と石野公園改修準備

公園事業

公園事業では、平成24年度から、国の補助事業である都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を活用し、村山公園の公園施設の改築・更新に

取り組んでいるところで、平成25年度も引き続き整備を行うていきたいと思っております。また、石野公園については、平成25年度に測量と設計業務を行い、平成26年度以降、計画的に改築・更新が実施できるよう準備を進めていきたいと思っております。

憩いの場としての公園の整備に着手

鍛冶屋町通り整備事業

鍛冶屋町通り街なみ環境整備事業については、平成16年度から取り組んでいます。が、地域住民の皆さまのご理解とご協力をいただきまして、これまで10件の民家修景助成のほか、案内灯籠や通路などの景観整備を行うことができました。なお、平成25年度には、より一層魅力的な地域となるように、市民の皆さまをはじめ市内を散策される観光客の皆さまの憩いの場としての小公園の整備に取り組んでいきたいと思っております。また、引き続き住民の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

地域との連携強化と地域教育の活性化に尽力

学校支援地域本部事業

「学校支援地域本部事業」については、平成20年度から3年間は、文部科学省の委託事業として、その後は県の補助を受けながら実施してまいりました。地域全体で学校教育を支援していく本事業も5年を経過しようとしています。現在、事業の「要」となります学校支援ボランティアとして250人余りの方に登録していただき、さまざまな支援活動を実施していただいているところです。今後はさらに、学校と地域の連携体制の強化と、地域教育力の活性化に向け、事業の充実を目指していききたいと思っております。

市内外へ人吉ならではの情報を提供

生涯学習講座

社会教育関係ですが、昨年10月27日に開講した「ひとよし花まる学園大学」は、今年3月9日が本年度最後の講

座となります。この間、人吉球磨をはじめ熊本市、近隣の鹿児島県伊佐市、霧島市から180人余りの方に「歴史学」「肥薩線」「まちづくり・ひとづくり」など地域の特性を生かした講座を、楽しみながら受講していただけたものと思っております。

また、この「ひとよし花まる学園大学」では、人吉球磨の高校生を対象に「十代未来塾」と題した出前講座を、熊本学園大学の先生や地元の方、さらには前述の「花まる学習会」代表の高濱正伸氏など多彩な講師をお迎えして各高校で実施しましたところ、大変ご好評をいただきました。今後も、「ひとよし花まる学園大学」をはじめとする生涯学習講座を開催することで、人吉市民の皆さまのみならず、市外、県外へ人吉発の情報を提供していきたいと思っております。

心のこもったおもてなしで満足のいく大会へ

ひとよし春風マラソン

ひとよし春風マラソンですが、今年2月17日に第10回の記念大会を、全国各地から

8 組織別・教育関係

耐震・天井扇設置完了で快適な学習空間に

学校施設関係

学校施設関係ですが、平成20年度以降、学校施設環境改善交付金を活用して年次計画で実施してきた耐震補強工事は、昨年末に竣工した人吉西小学校管理・特別教室棟の耐震補強工事をもって、全ての学校施設の耐震化が完了しました。現在、同校低学年棟などの大規模改修工事を順次行っているところで、平成25年度末で人吉西小学校の改修は、全て完了する計画です。

また、各小中学校で、空調設備の冷暖房効果を高めて省エネを図るための天井扇の設置を行っていましたが、ほぼ完了し、より快適な学習環境の提供ができたものと思っております。

いじめを許さない学校・地域づくり

いじめ対策

学校教育関係ですが、いじめ対策については、現在、いじめ防止に向けた支援体制の構築を進めていて、各小・中学校に校長先生をはじめ教職員、保護者代表、民生児童委員などを構成委員とした「学校いじめ対策委員会」を設置していただいております。さらには市教育委員会内に、人吉っ子アドバイザー、家庭児童相談員、保健師、人吉警察署員などを構成員とした「いじめ対策サポートチーム」を編成しました。県内自治体での設置は初めてで、各方面から注目されているところです。また、現在3人体制の人吉っ子アドバイザーを4人体制にして役割分担を明確にし、いじめ・不登校問題をはじめとする生徒指導と相談業務を充実していきたいと思っております。

今後ともいじめの早期対応・早期解決を行い、いじめを絶対に許さない学校づくり・地域づくりを行い、子どもたちの健全育成にもしっかりと取り組んでいきたいと思

過去最高となる6082人のランナーをお迎えして開催することができました。エントリーの約4割の方が県外からの参加で、本市の観光振興や地域活性化に大きく寄与したものと思っております。電算処理の不具合のため、完走証の即時発行ができず、選手および関係者の皆さまにご迷惑、ご心配をおかけしましたが、先日

発送作業が完了したところで、今回の反省点を十分踏まえながら、今後も招待選手とのふれあいはもとより、沿道の応援やボランティアスタッフの心のこもったおもてなしで、満足のいただける大会へ育てていきたいと思っております。ご協力をいただきました関係者をはじめ市民の皆さまに心から感謝申し上げます。



過去最高の6082人が参加したひとよし春風マラソン



図書館まつりの読書感想画コンクール表彰式

カルチャーパレスの改修については、市への移管後、文化庁芸術活動支援員派遣事業により、専門家を招聘してこれまで改修部分の精査検討を行いました。厳しい財政事情を勘案しながら、昨年3月に改修方針を策定し、大規模改修基本設計が今年3月中には完了する見込みです。安全性および操作性の確立を第一義とする観点から、舞台機構・舞台照明・電気設備関係の一部については、平成25年度に

「お庭御覧」ですが、平成23年度から庭園所有者をはじめ関係者の皆さまのご協力のもと実施してまいりました。この間、2カ年連続で臨地講習を行った人吉城御館庭園は、往時の壮大な石組みが姿を現し、名勝となる庭園として生まれ変わり、訪れる方に楽しんでいただいているところです。平成25年度には、5月25日に井口八幡神社境内の庭園を舞台に、例年と同様、日本を代表する作庭家の野村

たいと思います。  
実施設計を行う計画で、改修の準備が整いしだい、順次工事に入りたいと思います。  
大人から子どもまで楽しめる空間に  
図書館関係

図書館関係ですが、今年2月23日・24日に行いました図書館まつりでは、本市内外から家族連れをはじめ多くの来館者があり、人形劇・映画上映など、いろいろな催し物を楽しんでいただきました。また、「村上春樹の世界に見る悪、宗教、物語」のテーマで開催した教養講座にも、多くの文学愛好者に参加をいただきました。講演後は、「作品の魅力を再認識した」「もう一度読み返したい」「知らない作品にも興味が湧いた」などの感想を伺うことができ、大変有意義な講座になったものと思います。今後も、このような大人から子どもまで楽しめるイベントを継続して実施することで、図書館に興味を持っていただき、読書の素晴らしさをアピールしていきたいと思えます。

公共下水道関係ですが、本市の公共下水道は昭和57年3月の供用開始以来、今年3月で31年を迎えました。現在の事業認可区域1029ヘクタールの整備については、順

公共下水道関係

供用開始31年 下水道の整備は順調に推移

上水道事業関係ですが、老朽化による更新と耐震化計画として進めている茂ヶ野水源池から原城配水池までの送水管改良工事のうち、漆田地区の一部については、平成22年度から工事を進めてまいりましたが、平成25年度に完了する見込みです。そのほか、一般改良工事として下原田町配水管改良工事など13カ所、負担金工事で2カ所、起債工事で2カ所の配水管改良工事を計画しているところです。

送水管改良工事の一部が完了予定  
上水道事業関係

9 組織別・水道局関連

調に進捗していきまして、区内の未整備地区もあとわずかという状況です。

施設の充実と経営基盤の強化  
人吉浄水苑

また、平成15年度から取り組んできた終末処理場「人吉浄水苑」の改築更新工事については、平成24年度でほぼ完了します。今後は、老朽化した汚水中継ポンプ場の長寿命化計画の策定や、早期に敷設した汚水管きよなどの改築更新に着手し、施設の機能維持や安全性の確保に努めていきたいと思えます。さらに、独立採算が基本である下水道事業の経営基盤強化は、効率的で長期的に安定した経営を持続していくために、経営の健全性や計画性・透明性の向上を図ることが必要とされていますので、企業会計導入に向けた準備を進め、地方公営企業法適用へとつなげていきたいと思えます。



九日町の汚水中継ポンプ場

浄化槽関係ですが、これまで国・県の制度を活用した補助金交付制度で普及促進を行ってまいりましたが、いまだ未整備の世帯が多く残っているのが現状です。そこで平成24年度から上乗せ補助を実施した結果、設置基数が平成23年度と比べ約1.7倍増加しました。平成25年度もこれらの普及促進により、家庭からの雑排水による汚濁物質の減少や住環境の改善および公共用水域の水質保全につながる事が期待されるところです。

補助制度の普及促進で設置数増を目指す  
浄化槽関係



大手門南側石垣を発掘調査



往時の姿を現した人吉城御館庭園



富ヶ尾町の了清院跡墓地にある相良清兵衛一族の墓



人吉球磨総合美展は今年が60回目

大手門南側石垣修復・周辺測量設計を計画  
文化財関係

文化財関係

文化財関係ですが、石段や排水溝の陥没が確認されていた大手門南側石垣については、平成24年度に、発掘調査を行い毀損状況の把握および石垣の凶化などを実施しました。平成25年度では石段の修復工事を行うとともに、平成26年度に予定している周辺整備に伴う測量設計を計画しています。

人吉城御館庭園に続き井口八幡神社で開催  
お庭御覧

お庭御覧

人吉藩存続の立役者・相良清兵衛にスポット  
人吉城歴史館特別展

人吉城歴史館では、郷土の偉人の一人である相良清兵衛を顕彰する特別展示を今年10月4日から12月8日まで開催する計画です。人吉藩存続の立役者で波乱万丈の人生を送った相良清兵衛の功績や人物像を相良家文書や絵

人吉城歴史館特別展

60周年を節目に総合美展をより充実  
文化振興関係

文化振興関係ですが、犬童球磨顕彰音楽祭については、本来の目的である郷土の偉人・犬童球磨氏の偉業を顕彰

するとともに、「音楽の夕べ」の中で一昨年からスタートし好評を博している「犬童球磨合唱団」を今後も人吉市民合唱の核としてご活動いただくなど、市民の皆さまが多数ご来場いただけるような創造性豊かでぬくもりを伝える手作りの音楽祭を目指していきたいと思えます。人吉球磨総合美展については、平成25年度で60回目となることから、記念となる開催に向け準備を進めているところです。これを契機として、今後さらに、人吉球磨を代表する芸術の祭典として、より充実したものと

おしり、おさねっー。



## 広報ひとよし平成25年3月施政方針号

発行・編集 人吉市役所秘書課広報広聴係

〒868-8601 熊本県人吉市麓町16番地

<http://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

✉ [info@city.hitoyoshi.lg.jp](mailto:info@city.hitoyoshi.lg.jp)

☎ (0966) 22-2111 FAX (0966) 24-7869

表紙：鬼木の臼太鼓踊り（人吉駅からくり時計前）

裏表紙：からくり時計の人形